

平成28年度事業報告

第1 重点事業総括

前年度同様、公益目的事業である警備員に対する教育事業及び警備業適正化事業を重点とした事業を展開した。

警備員に対する教育事業は、警備業務の適正な実施と警備員の知識・能力の向上を図るため、教育管理者研修会等には府警本部生活安全企画課担当官を講師に招聘し、「立入調査結果に基づく警備業法違反の態様と問題点など」や「交通誘導警備業務に係る検定合格警備員配置路線の見直しについて」の講演を実施したほか、府警本部警備第一課がソフトターゲットなどにおける安全対策に関する一般的な留意事項を取りまとめた「危機管理対策の心得」冊子1冊及び同内容のデータを会員各位に無償配付した。また、「交通誘導警備業務等に係る検定合格警備員配置基準実例集」を作成し、希望会員各位に無償配付するとともに、当協会ホームページにも同内容をアップし適正な警備業務の実施に努めた。



警備業適正化事業は、平成29年3月から適用する公共工事設計労務単価について周知したほか、経営者研修会には京都労働局助成金センター地方雇用開発担当官を講師に招聘し、「キャリアアップ助成金」についての講演を実施したほか、建設関係新聞には、宇多会長の「社会保険料等を適切に含んだ警備料金での発注」依頼文を、機関誌には、65歳超雇用推進助成金の概要を掲載するなどして経営基盤強化に努めた。

この他、前年度に引き続き警備員指導教育責任者等を対象とした警察学校半日入校体験研修会の開催や、京都府・京都市総合防災訓練のほか、京都競馬場でサリンがまかれ、多数の死傷者が発生したと想定した国民保護共同実動訓練に積極的に参加するなど定款に規定された事業を積極的に推進した。

第2 公益事業

1 警備員等に対する教育事業

(1) 警備員特別講習

年間事業計画に基づき9回（雑踏警備業務1級・2級合同開催を各1回実施と計上）実施した。本講習合格率は57.8%（前年度57.5%）、前年度対比0.3ポイント向上した。

種別	区分	回数	本講習			再講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
施設警備1級		1	51	24	47.1%			
施設警備2級		2	137	91	66.4%	30	13	43.3%
交通誘導警備1級		1	61	37	60.7%	1	0	0%
交通誘導警備2級		2	143	64	44.7%	46	15	32.6%
雑踏警備1級		1	24	20	83.3%			
雑踏警備2級		1	39	26	66.7%	6	4	66.7%
貴重品運搬警備2級		1	64	38	59.3%	17	10	58.8%
合計		9	519	300	57.8%	100	42	42.0%

(2) 警備員指導教育責任者等講習

京都府公安委員会から委託を受けて実施しているが、警備員指導教育責任者新規取得講習の合格率は32.7%（前年度70.9%）と前年度対比-38.2ポイントであった。

ア 警備員指導教育責任者講習

種別	回数	新規取得講習			追加取得講習		
		受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
1号警備業務	1	27	11	40.7%	7	1	14.3%
2号警備業務	1	21	4	19.0%	8	5	62.5%
3号警備業務	1	5	1	20.0%	2	1	50.0%
4号警備業務	1	2	2	100%	7	7	100%
合計	4	55	18	32.7%	24	14	58.3%

イ 機械警備業務管理者講習

回数	受講者	合格者	合格率
1	6	2	33.3%

(3) 現任警備員教育

会員の要望に基づき、本年度も29回（前年度対比+4回）、述べ775人（前年度対比-170人）の現任警備員教育を実施した。

(4) スキルアップ研修

京都府が支援する中高年キャリアアッププログラム事業の一環として「スキルアップ研修警備コース」を4回開催し、警備業界への就職支援活動を支援した。

2 警備業適正化事業

(1) 警察・警備業協会連絡協議会

8月5日（金）、ホテル日航プリンセス京都において、府警本部からは、生活安全部次長以下3人、当協会からは、会長以下10人が出席した第3回警察・警備業協会連絡協議会を開催し、当協会からは「交通誘導警備業務に係る検定合格警備員配置基準の見直しと取締りの強化、平成31年度からの事務局移転に伴う会議室使用料金の高騰等による警備員指導教育責任者講習委託料金の値上げの検討」などを要望し、府警本部からは「現在、指定路線拡充に向けて検討中であるほか、貴協会からの要望には真摯に対応する」などとの回答が得られた。

また、適正な警備業務の実施に資するため府警本部との緊密な連携を強化した。

(2) 教育管理者研修会

8月26日（金）、京都府中小企業会館において、会員及び非会員並びに役員等126人が参加した平成28年度教育管理者研修会を開催し、府警本部生活安全企画課担当官から「適正な警備業務の実施」、同警備第一課危機管理対策室担当から「テロ対策と災害対策」、京都市社会福祉協議会京都市すこやかセンター担当官から「認知症サポーター養成講座」についての講演を実施した。



(3) 経営基盤強化等

ア 経営者研修会

10月28日（金）、京都府中小企業会館において、会員及び非会員並びに役員等96人が参加した

経営者研修会を開催し、府警本部生活安全企画課担当官から「交通誘導警備業務に係る検定合格警備員配置路線の見直し」、京都労働局助成金センター地方雇用開発担当官から「キャリアアップ助成金」についての講演を実施した。

イ 優良警備員等表彰

6月17日（金）、平成28年度定時総会終了後の優良警備員等表彰式において、優良警備員表彰36人、警備業教育関係功労者3人、警備業協会運営功労者表彰3人を、10月28日（金）、第15回警備業安全衛生大会において、労災事故防止活動論文・ポスター・標語優秀表彰各3人、同活動優秀事業所表彰5社を、本年1月12日（木）、永年勤続警備員等表彰式において、勤続20年以上警備員表彰8人、同10年以上警備員表彰28人、優良警備員表彰3人、当協会初となる京都府警察本部長・京都府警備業協会会長連名の警備業教育関係等功労表彰2人をそれぞれ表彰し、警備員等の士気高揚に貢献した。



ウ 警備業経営講座

機関誌警備業経営講座に「キャリアアップ助成金」、「36協定」についての解説を掲載した。

エ 「警備の日」広報活動

11月1日（火）、京都市下京区四条河原町マルイ京都店前歩道上において、宇多会長以下役員等13人が通行人に対して警備員イメージソングを流しながら、ポケットティッシュなど500部を配付した警備の日広報活動を実施した。

(4) 暴力団等反社会的勢力排除対策

ア 暴力団等反社会的勢力排除対策協議

7月27日（水）、当協会教育センターにおいて、府警本部生活安全部次長、同刑事部理事官暴力団対策室長、京都府暴力追放運動推進センター専務理事、宇多会長以下役員等14人が出席した平成28年度暴力団等反社会的勢力排除対策協議会を開催し、今後の暴力団等反社会的勢力排除対策を協議した。

イ 暴力・違法銃器追放京都府民大会

11月1日（火）、京都テルサにおいて、みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会が開催され、宇多会長及び役員並びに会員多数が参加した。

ウ 不当要求防止責任者選任時講習

11月16日（水）、京都府中小企業会館において、第8回不当要求防止責任者選任時講習を開催し、不当要求防止責任者及び役員等64人が参加し、受講した49人の責任者に対して、京都府公安委員会の受講修了書が交付された。

(5) 警察学校半日入校体験研修会

本年1月19日（木）、京都府警察学校において、警備員指導教育責任者等20人が参加した「第3回警察学校半日入校体験研修会」を開催し、警察官から護身術の基本などを学ぶとともに、総合警備訓練などを見学した。



3 地域安全対策事業

(1) 地域安全啓発活動

ア 自動車盗難等防止連絡協議会

5月18日（水）、京都ガーデンパレスホテルにおいて、京都府自動車盗難等防止連絡協議会総会が開催され、小山専務理事が出席し、各種事業などについて協議した。

イ 万引き防止対策推進協議会

6月29日（水）、ルビノ京都堀川において開催された、京都府万引き防止対策推進協議会総会には、小山専務理事が、7月20日（水）、中丹勤労者福祉会館において開催された、同協議会北部分科会には、西野監事がそれぞれ出席、各種事業などについて協議した。

ウ 安心・安全まちづくり京都大会参加

10月12日（金）、京都アバンティ龍谷大学響都ホールにおいて、京都府警・京都府・京都市・京都府防犯協会連合会主催による「安心・安全まちづくり京都大会」が開催され、宇多会長及び役員並びに会員多数が参加した。

エ 京都テロ対策ネットワーク総会

12月15日（木）、京都テロ対策ネットワーク総会が開催され、小山専務理事が出席した。

オ 青色防犯パトロール

本年度から青色防犯パトロールを2会員が実施し、地域安全に貢献した。

(2) 広報・啓発活動

機関誌に、地域安全対策に関する京都府警察の広報文を掲載したほか、各種研修会等において同様の広報文を会員等に配布し、安全情報の発信による広報・啓発活動を推進した。

4 災害支援活動事業

(1) 災害支援活動警備業者名簿の作成・報告

「災害時における交通誘導業務及び警戒業務の支援に関する協定」などに基づき、災害支援活動警備業者名簿を作成し、出動可能警備業者49社、出動可能警備員数合計356人などの内容を京都府知事、京都府警察本部に報告した。

(2) 総合防災訓練の参加

9月3日（土）、京都市下京区一体において、京都市総合防災訓練が実施され、宇多会長以下8人が参加し、京都府警下京警察署員と合同で「緊急交通路・標章交付訓練」を実施した。また、9月4日（日）、南丹市などにおいて、京都府総合防災訓練が実施され、小山専務理事以下8人が参加し、京都府警察などと連携し道路啓開訓練を実施した。



(3) 国民保護共同実動訓練

本年2月2日（木）、京都競馬場において、サリンがまかれ、多数の死傷者が発生したと想定した国民保護共同実動訓練が内閣府、京都府、京都市主催で実施され、特別講習講師など18人が参加し、緊急事態への対応を確認した。

(4) 普通救命講習

本年1月17日（火）、京都府中小企業会館において、京都市消防局右京消防署の協力を得て、普通救命講習を開催し、心肺蘇生訓練等を実施、受講した34人に対して、「普通救命講習修了証」が

交付された。

5 労働災害防止活動事業

(1) 平成28年度京都ゼロ災3か月運動

京都労働局が主唱し、安全・健康・快適職場を目指して、危険ゼロの取組による災害ゼロ・健康確保を目的とする京都ゼロ災3か月運動に会員107事業所が参加申し込み、7月1日から9月30日までの3か月間労働災害ゼロの実現に向けて取り組んだ。

(2) 労災事故防止論文・ポスター・標語の応募

論文の部12点、ポスターの部19点、標語の部805点の合計836点の応募があり、優秀作品各3点を全国警備業協会へ送付した。

なお、昨年度全国警備業協会へ送付したポスター1点が全国第3位に入選し、7月6日（水）、春季全国専務理事等会議上において、表彰された。



(3) 警備業安全衛生大会

10月28日（火）、京都府中小企業会館において、平成28年度経営者研修会に引き続き第15回警備業安全衛生大会を開催し、「大会宣言」が採択され、労働災害事故防止に取り組んだ。

第3 共益事業

1 懇親会等の開催

6月17日（金）、開催の平成28年度定時総会等終了後の懇親会には、会員等122人が、本年1月12日（木）、開催の新年賀詞交歓会には、会員等143人がそれぞれ参加して会員相互の親睦を深化させた。



2 親睦ゴルフ

総務委員会主催のゴルフコンペも平成28年度中、2回開催し、延べ50人が参加して会員相互の親睦を深化させた。

第4 役員選挙の実施

6月17日（金）、京都タワーホテルにおいて、平成28年度定時総会を開催し、会員理事7人、外部理事3人、会員監事1人、外部監事1人に対する役員選挙を実施した結果、全員が定時総会出席者の過半数以上の信任が得られて当選人となり、2年間の役員体制が決定した。

第5 役員・委員会等の活動状況

1 理事会

平成28年度事業計画に基づき、理事会を4回開催し、審議の結果、下記議案が承認などされた。

(1) 5月18日（水）開催・第1回理事会

- ア 定時総会の議事に付すべき事項
- イ 平成27年度事業報告（案）承認の件
- ウ 平成27年度収支決算報告（案）承認の件
- エ 役員候補者（案）承認の件
- オ 優良警備員等表彰者審査の件
- カ 新規入会会員承認の件
- キ 熊本県警備業協会への支援金（案）承認の件
- ク 警備業の発展を応援する議員連盟京都府支部長への要望（案）承認の件

(2) 9月16日（金）開催・第2回理事会

- ア 各専門委員会提案事項承認の件
- イ 労働災害防止論文等優秀者（社）審査の件
- ウ 第14回警備業安全衛生大会「大会宣言」（案）承認の件
- エ 警備業功労者表彰等取扱要綱（案）承認の件
- オ 専務理事後任者求人承認の件
- カ 警備の日に実施する活動審議の件
- キ 新規入会会員及び退会会員承認の件
- ク 会長及び専務理事の職務執行状況報告承認の件



(3) 12月9日（金）開催・第3回理事会

- ア 平成28年度事業計画一部変更承認の件
- イ 平成29年度事業計画一部承認の件
- ウ 永年勤続警備員等被表彰者審査の件
- エ 新規入会会員承認の件
- オ 青年育成委員会提案事項承認の件
- カ 交通誘導警備業務に係る京都府公安委員会認定検定合格警備員配置路線図の作成承認の件

(4) 本年3月24日（金）開催・第4回理事会

- ア 平成29年度事業計画（案）承認の件
- イ 平成29年度収支予算（案）承認の件
- ウ 警備業協同組合設立準備（案）承認の件
- エ 退会会員承認の件
- オ 青年育成委員会新規入会会員承認の件
- カ 新規職員採用（後任専務理事候補者）（案）承認の件
- キ 事務局職員定時昇給（案）承認の件
- ク 専務理事の職務執行状況報告承認の件

2 専門委員会及び青年育成委員会

理事会に付議する各種提案のほか、協会各種事業に積極的に参加した。

第6 その他

1 全国警備業協会通常総会及び理事会出席

宇多会長が、全国警備業協会通常総会及び4回開催された理事会に全て出席し、各種議案について審議した。

2 各種積立金

災害支援事業費 100万円（平成28年度末積立金合計11,027,543円）、創立50周年記念事業費50万円（平成28年度末積立金合計1,500,192円）を積み立てた。

3 若手警備員座談会

青年育成委員会主催による、警備業界の課題である「人手不足を解消するため」、3月15日（水）、5社、10人（男性7人、女性3人、平均年齢26.9歳）の若手警備員が参加した座談会を開催した。

入社前の警備業界のイメージは、異口同音に「年齢層が高い。バイトなら出来ても正規社員としてやっていけるのか不安で。体力的にもきつい。」などの悪いイメージがあったと話していたが、入社すると「先輩・上司が積極的に声かけをしてくれて楽しい仕事と思えるようになった。お客様からお礼の声掛けをしていただきやり甲斐のある仕事と思えるようになった。」などと仕事に誇りを持っていることが窺え、人手不足解消の方策として「福利厚生を含めた処遇改善を図る。スキルアップを図る。機能性とデザイン性を兼ね備えた制服を使用する。芸能人などをポスターに起用するなどして広くPR活動をする。」などの意見が述べられ、人手不足を解消するためには、警備業界のイメージアップに努めることが重要と思われた。



4 人手不足の解消施策

京都労働局職業安定課と連携し、府下ハローワークに「警備のしごと」と題するリーフレットを新年度から陳列し、求職者に対して警備業への理解を深めてもらうとともに、人手不足解消の一助とすることを決定した。